



# だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和7年2月7日 第19号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



## 「次年度に向けて：学校評価の結果」について

校長 秋馬 信之

保護者・地域の皆様には、日頃より武蔵台小中学校の教育活動に御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、学校評価「保護者アンケート」において、御協力いただきありがとうございました。現在、学校においては、保護者の皆様からいただきました貴重な御意見、教職員の自己評価、そして児童生徒のアンケート等をもとに次年度の教育課程を立案しています。

さて、以下のように保護者アンケートにおける「A～D（4段階）評価における数値とその割合」を示しました。全項目とも4段階で、どの指標もA+Bの割合が80%以上を達成し概ね良好といえます。しかしながら、他の評価指標と比べ若干「C」と「D」の割合が高いのは以下の点です。次号では、評価項目ごとのまとめを示します。

学校は、学力調査の結果を受けて具体的な学力向上策を検討し、指導にあたっている。

## 令和6年度 保護者アンケート結果

「A」ほぼ達成(8割以上)「B」概ね達成(6割以上)「C」変化の兆し(4割以上)「D」不十分(4割未満)

| 評価項目                           | 具体的方策          | 評価指標                                                                               | 人数 |    |    |   | 割合   |      |      |     |
|--------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---|------|------|------|-----|
|                                |                |                                                                                    | A  | B  | C  | D | A    | B    | C    | D   |
| 組織運営の充実<br>(小中一貫の視点)           | 目指す15歳の具現化     | 学校は、目指す15歳像「たくましく未来を切り拓き、一步上を目指す台子」の育成に努め、9年間の発達を見据えた教育活動（授業、学校行事、部活動等）を進めている。     | 37 | 74 | 5  | 0 | 31.9 | 63.8 | 4.3  | 0   |
|                                | 積極的な生徒指導の推進    | 学校は、児童生徒一人一人のよさを認め、伸ばし、社会の中で自分らしく生きることを目指して、体験活動や児童生徒会活動に積極的に取り組んでいる。              | 42 | 69 | 5  | 0 | 36.2 | 59.5 | 4.3  | 0   |
| 基礎学力の定着                        | 授業改善           | 学校は、タブレット端末の活用や話し合い活動などを通して、思考を深める授業づくりに努めている。                                     | 49 | 60 | 5  | 2 | 42.2 | 51.7 | 4.3  | 1.7 |
|                                | 個に応じた指導と補充学習   | 学校は、学力調査の結果を受けて具体的な学力向上策を検討し、指導にあたっている。                                            | 29 | 62 | 23 | 2 | 25.0 | 53.4 | 19.8 | 1.7 |
| 保護者や地域との連携<br>(コミュニティ・スクールの視点) | 学校の情報発信        | 学校は、各種たより・学校ホームページ・メール配信等を通じて、学校の情報を積極的に発信している。                                    | 52 | 57 | 7  | 0 | 44.8 | 49.1 | 6.0  | 0   |
|                                | 保護者・地域との連携     | 学校は、定期的なアンケート等を通じて保護者や地域の意見を取り入れながら、コミュニティ・スクールとしての基盤を整備するとともに、義務教育学校の体制づくりを進めている。 | 48 | 61 | 7  | 0 | 41.4 | 52.6 | 6    | 0   |
| 社会性・人間性の育成                     | 規律ある態度の育成      | 学校は、あいさつ・言葉遣い・きまりを守る等、規律ある態度の育成に努めている。                                             | 45 | 61 | 10 | 0 | 38.8 | 52.6 | 8.6  | 0   |
|                                | 学校行事の充実        | 学校は、異年齢交流活動や感動と達成感のある学校行事、教育活動を展開している。                                             | 69 | 38 | 9  | 0 | 59.5 | 32.8 | 7.8  | 0   |
|                                | 道徳教育の充実        | 学校は、自他を大切にする心や相手を思いやる心を育て、道徳教育の充実に努めている。                                           | 35 | 75 | 6  | 0 | 30.2 | 64.7 | 5.2  | 0   |
| 安心安全な教育環境                      | 教育相談体制の充実      | 学校は、児童生徒や保護者の声に丁寧に傾け、相談しやすい環境づくりに努めている。                                            | 48 | 59 | 9  | 0 | 41.4 | 50.9 | 7.8  | 0   |
|                                | 安心・安全な学級づくりの推進 | 学校は、校舎内外の施設設備などが、安全に使用できるように整備している。（感染防止対策を含む）                                     | 47 | 66 | 2  | 1 | 40.5 | 56.9 | 1.7  | 0.9 |

※備考：回答者数116名 家庭数211 （回答率54.9%）



|            |            |              |              |            |
|------------|------------|--------------|--------------|------------|
| 銅賞3年 I・Mさん | 銅賞3年 O・Hさん | 銀賞3年 S・Nさん   | 銅賞3年 H・Kさん   | 銀賞4年 O・Kさん |
| 銅賞4年 K・Kさん | 銅賞4年 T・Hさん | 銅賞4年 H・Cさん   | 銅賞なかよし K・Hさん | 金賞5年 K・Mさん |
| 金賞5年 I・Aさん | 金賞5年 M・Rさん | 銀賞5年 T・Aさん   | 銀賞5年 I・Aさん   | 銀賞5年 T・Sさん |
| 銀賞5年 I・Sさん | 銅賞5年 S・Aさん | 銅賞なかよし I・Aさん | 銀賞6年 I・Iさん   | 銀賞6年 I・Hさん |
| 銅賞6年 S・Nさん | 銅賞6年 Y・Tさん | 金賞7年 T・Sさん   | 金賞7年 M・Mさん   | 銀賞7年 H・Kさん |
| 銅賞7年 W・Mさん | 金賞8年 O・Hさん | 金賞8年 Y・Mさん   | 銀賞8年 M・Yさん   | 銅賞8年 F・Iさん |
| 銅賞9年 I・Sさん | 銅賞9年 M・Mさん | 銅賞9年 K・Iさん   | 銅賞9年 H・Jさん   |            |

【卓球部 冬季強化大会兼学総シード決め大会】※市内カルタ大会受賞者は、前号にて紹介しています

- ・卓球女子シングルス第3位 8年 O・Sさん
- ・卓球女子ダブルス第1位 8年 A・Wさん W・Kさん
- ・卓球女子ダブルス第2位 7年 A・Mさん S・Sさん

おめでとうございます！

「継続は力なり」 1×100=100 小さなことをコツコツと続けることに価値がある！

元プロ野球選手で日本とアメリカで活躍しイチロー（鈴木一郎氏）さん、日本人初となるアメリカ野球殿堂入りを果たしました。イチローさんがどんな人物なのかあえて説明はしませんが、とにかくすごい選手だったのです。朝日新聞のコラム「天声人語」にイチローさんのことが書かれていたので紹介します。なお、QRコードは、私が30年前に学級便りに掲載した天声人語（1994年・イチローさんが20歳で200本安打を記録したことが書かれている）です。

【2025年1月25日 朝日新聞「天声人語」】

子どもの詩を集めた「こどばのしっぽ」から、小学校6年の神野温子さんの作品を引く。＜打消しの漢字 非・無・未・不／じゅく語にすると／良い意味の言葉がありません／非行・無理矢理・未完成・・・＞。確かにそうかもしれない。でも、あの人の中では違った。米野球殿堂入りを果たしたイチローさん。おととい。選考の投票で満票に一つ足りなかったことを問われ、答えた。「やっぱり不完全であるというのはいいいな。生きていく上で不完全だから進もうとできる」。いかにイチローさんらしかった。大リーグ通算3089安打、10年連続200安打。輝かしい記録の数々を改めて目にして、打席に入った時の白刃をふりかざすようなあの一連の「型」を鮮やかに思い出す。走攻守。すべてにおいて、求道という言葉がよく似合った。自分なりの理想像をどこまでも追求める。そのために現役時代は普段の生活から、全身の筋肉を意識したという。「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だ」。数多くのイチロー語録の中でも、忘れがたい一つである。野茂英雄さんやイチローさんらが残した足跡をたどって、いまや日本から多くの若者たちが海を渡る。昨日はロッテの佐々木朗希投手がドジャースへの入団を発表した。無・不・未。無心で重ねる努力だけが不朽の記録を生み出す。イチローさんの殿堂入りは、未来を夢みる者への、力強いメッセージになったことだろう。

1994年朝日新聞「天声人語」

